

関係機関長 殿

沖縄県病害虫防除技術センター所長
(公 印 省 略)

病害虫発生予察注意報について

平成 30 年度病害虫発生予察注意報第 7 号を公表したので送付します。

平成 30 年度病害虫発生予察注意報第 7 号

- 1 作物名 さとうきび
- 2 害虫名 メイチュウ類 (イネヨトウ)
- 3 発生地域 八重山群島

4 注意報発令の根拠

- (1) 石垣島における 1 月中旬の調査の結果、新植夏植ほ場における芯枯茎率は 8.5% (前年 10.7%、
平年 6.2%) と平年よりやや高かった (図 1)。また切開調査の結果、確認されたメイチュウ
類幼虫の 78.2% がイネヨトウ、21.8% がカンシャシクイハマキであった。
- (2) 防除員の報告によると、波照間島の新植夏植ほ場における芯枯茎率は 13.8% であった (図 2)。
- (3) 防除員及び関係機関の報告によると、与那国島の新植夏植ほ場における芯枯茎率は 3.5% であ
ったが、一部ほ場で多発生が見られた。また切開調査の結果、確認されたメイチュウ類幼虫
は全てイネヨトウであった。
- (4) 石垣島における 1 月のイネヨトウ合成性フェロモントラップによるトラップ当たり日当たり
誘殺虫数は 0.8 頭 (前年 1.6 頭、平年 2.1 頭) と平年より少なかった (図 3)。また波照間島
における誘殺虫数は 2.2 頭 (前年 3.1 頭)、与那国島における誘殺虫数は 2.2 頭 (前年 1.4 頭) で
あった (図 4、5)。

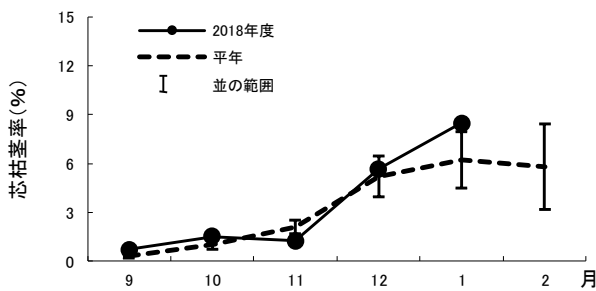


図 1 石垣島におけるメイチュウ類 (芯枯茎) の発生推移

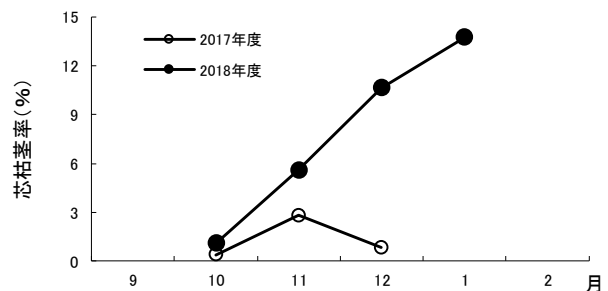


図 2 波照間島におけるメイチュウ類 (芯枯茎) の発生推移

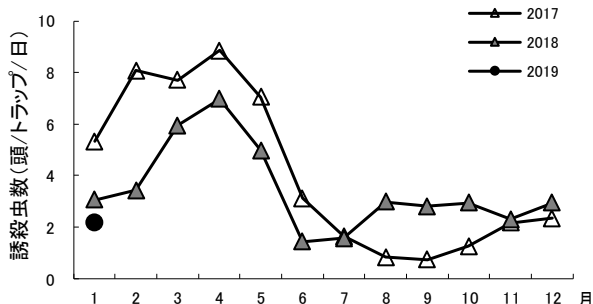


図 3 石垣島におけるイネヨトウ (トラップ) の発生推移

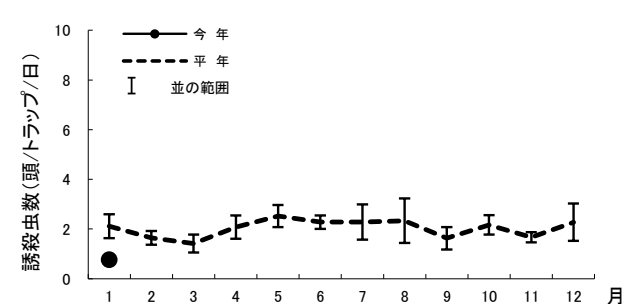


図 4 波照間島におけるイネヨトウ (トラップ) の発生推移

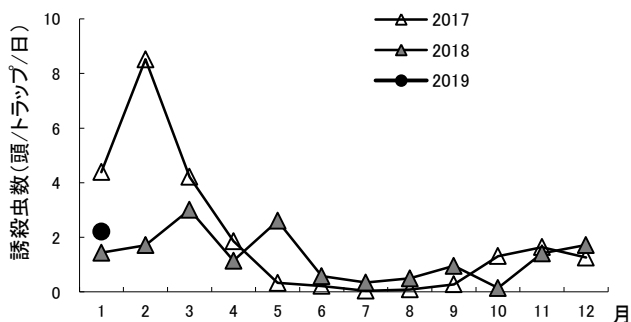


図5 与那国島におけるイネヨトウ（トラップ）の発生推移

5 発生生態および被害

- (1) 本県では年5～7世代を重ね、周年発生する。
- (2) 卵は葉鞘の裏側に卵塊で産み付けられ、1頭の生涯産卵数は400～700卵に達する。
- (3) ふ化した幼虫は葉裏や葉鞘から下部に移動して節部の芽や根帯から食入し、生長点を加害して芯枯れを起こす。(図6、7)
- (4) 初期被害はほ場の周縁部で見られ、スポット状または畝に沿って被害が拡大する。被害が集中的に起こるため、生育初期に加害されると坪枯れを起こすこともある。

6 防除上注意すべき事項

- (1) ほ場内外のイネ科雑草は発生源となるため、除草を徹底する。
- (2) 発芽揃期から有効分けつ期の芯枯れを防ぐため、幼虫食入初期の培土時に粒剤を施用する。
- (3) 乳剤の場合は、葉鞘内に薬液が浸透するように丁寧に散布する。粉剤の場合は、茎と葉元の間には散布し降雨や散水等により溶解させ、葉鞘内部へ浸透させる。
- (4) 薬剤防除後、2～3週間において再度防除を行うことで効果が高まる。
- (5) 被害の多い地域では、薬剤による一斉防除を行う。



図6 イネヨトウ幼虫



図7 芯枯茎

★詳しくは沖縄県病害虫防除技術センターにお問い合わせ下さい★

TEL : (本所) 098-886-3880、(宮古駐在) 0980-73-2634、(八重山駐在) 0980-82-4933

ホームページアドレス : <http://www.pref.okinawa.jp/site/norin/byogaichuboj/index.html>